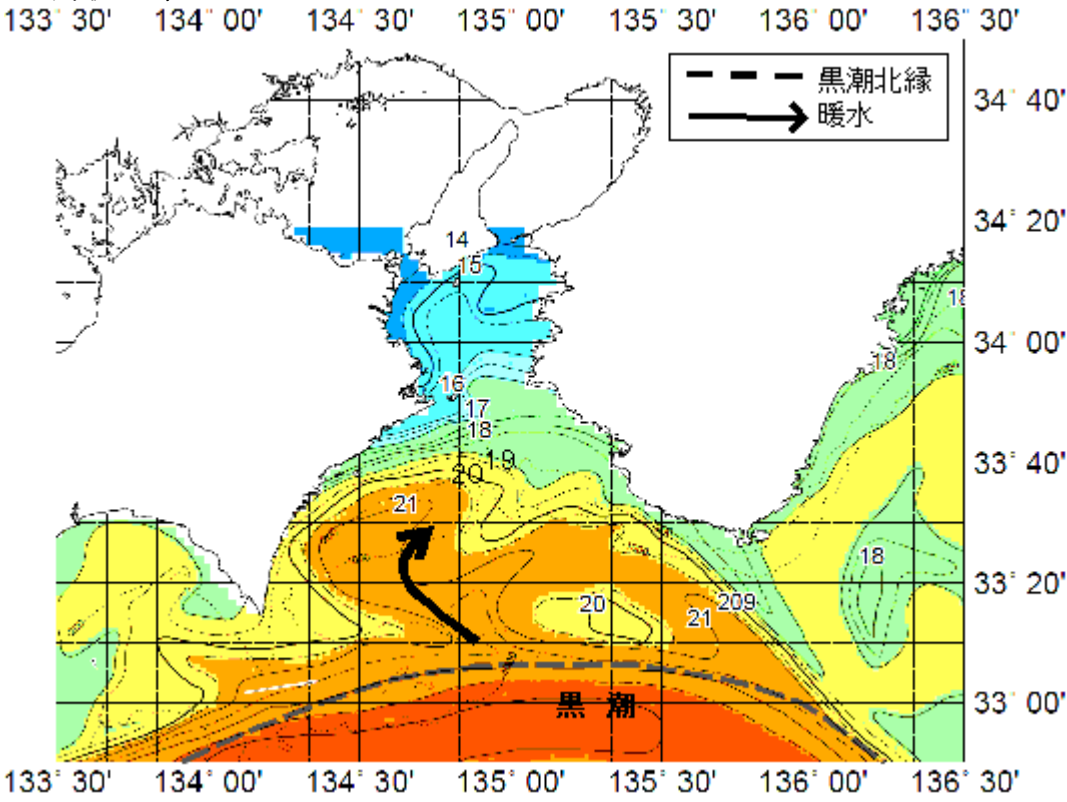


1. 海況の経過



海況

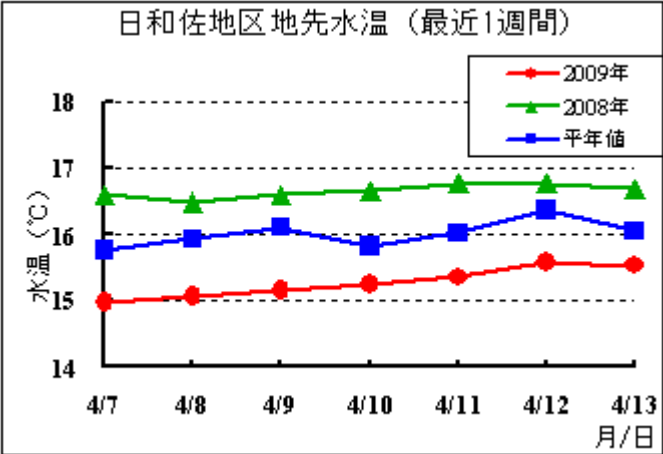
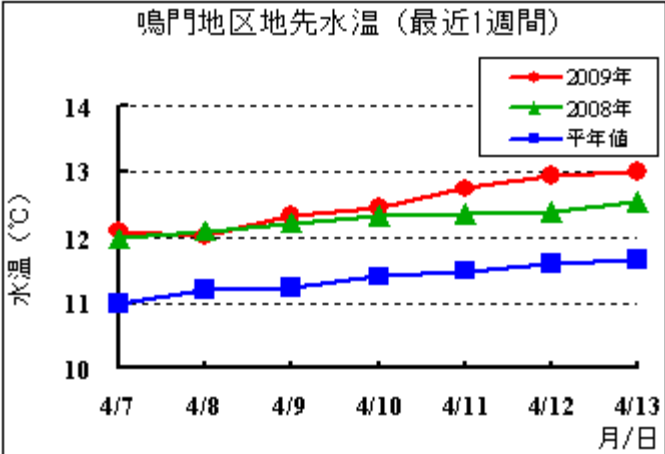
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.4.13)を示した。
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖でかなり離岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖と都井岬沖でやや離岸している。
黒潮本流の表面水温は21～22℃台である。
表面水温は播磨灘が13～14℃台、紀伊水道が13～16℃台、外域が16～21℃台である。
紀伊水道外域では、先週に引き続き室戸岬沖から海部沿岸に沿って暖水が流入している。
漁業調査船「とくしま」が4月8日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層では「高め」の12.8℃、10～30m層で「やや高め」の10.3～11.5℃であった。

播磨灘海区観測結果（観測日 2009/4/9）

水 温	水 深				塩 分	水 深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今 年 値	12.8	11.5	11.2	10.9	今 年 値	32.7	32.8	32.8	32.8
平年偏差	1.8	1.3	1.1	0.9	平年偏差	0.2	0.2	0.1	0.1
前年偏差	1.1	0.0	-0.1	-0.2	前年偏差	-0.1	-0.1	-0.2	-0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の12.0～13.0℃、日和佐地区は「やや低め」の15.0～15.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の15.2～17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが 0.3トン(1 日 1 隻当たり 17kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが 0.9トン(同 31kg)、ウルメイワシが 0.7トン(同 24kg)、カタクチイワシが 4.1トン(同 86kg)、キビナゴが 0.7トン(同 30kg)、小主体にマアジが 2.0トン(同 41kg)、マイワシが 0.8トン(同 45kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小主体にスルメイカが 0.2トン(同 23kg)、小小主体にマアジが 7.4トン(同 491kg)、メジロが 0.4トン(同 34kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にゴマサバが 1.2トン(同 20kg)、大・中主体にタチウオが 1.7トン(同 26kg)、マサバが 0.7トン(同 13kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが 2.6トン(同 82kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 4 月 6 日～4 月 12 日 県下 7 漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚 種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1 日 1 隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	16	269	17	大主体
小型定置網		アオリイカ	30	942	31	
		ウルメイワシ	31	748	24	
		カタクチイワシ	48	4,104	86	
		キビナゴ	25	744	30	
		マアジ	49	2,006	41	小主体
		マイワシ	18	802	45	
大型定置網		スルメイカ	9	205	23	小主体
		マアジ	15	7,359	491	小小主体
		メジロ	11	379	34	
釣り		ゴマサバ	61	1,199	20	中主体
		タチウオ	68	1,737	26	大・中主体
		マサバ	57	724	13	
	紀伊水道	タチウオ	32	2,617	82	特大主体

特異事項:

漁業調査船「とくしま」による調査では、海部沿岸で夜光虫が多く見られ、一部では海面がピンクになっている。また、本県沿岸でアカクラゲに混ざってミズクラゲも見られるようになった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。 地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の 13℃台前半、日和佐地先で「やや低め」の 15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが 18.6トン(1 日 1 隻あたり 19kg)、ビンナガが 7.7トン(同 8kg)、定置網で、ブリが 4.6トン(同 382kg)、ワラサが 9.8トン(同 817kg)、マアジが 8.1トン(同 675kg)、釣りでサバが 0.6トン(同 8kg)、イサキは 1.4トン(同 19kg)、パッチ網でシラスが 16.9トン(同 174kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49 以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50 以上